令和元年度 第55回 教育研究論文

本市では、教育研究論文を市内の教職員から募集しています。この事業は昭和41年から始められ、これまで910編以上の 応募数がある長い歴史を持つ事業です。令和元年度は、第 55 回目となり、教科、特別支援教育、国際理解教育、学級経営、 総合的な学習の時間、特別活動、主体的・対話的で深い学び等、多岐にわたるテーマでの応募があり、応募総数は 16 点とな りました。2月19日(水)には、船橋市総合教育センターにて表彰式が行われました。







中野木小学校

教諭 森田一歩 (現所属:千葉県総合教育センター) この度は素晴らしい賞を いただき、感謝申し上げま す。本実践は喫緊の課題で ある、若年層教員の人材育 成を、各学校の限られた時 間の中で効果的、効率的に 行うことを目指して取り組 んできたものです。「教師 が伸びた分だけ子供が伸び る。」と信じて、若年層教 員が力を付け、教育活動に 自信を持って取り組めるよ う、今後も育成に努めてい きたいと思います。

秀 賞 (順不同 敬称略)

• 塚田小学校 教諭 今浦大道 (現任校:市川市立平田小)

優良賞 (順不同 敬称略)

• 習志野台第一小学校 教諭 後藤律子

· 葛飾中学校 教諭 鈴木諭子



日本女子大学

次世代を担う子どもたちが、世界と向き合い、 自らの進路を決定するために不可欠な資質・能 力の育成が学校現場に強く求められている中に って、本年度の教育研究論文には、外国語(外 国語活動)、国際理解教育をテーマとしたもの が 16 編中 4 編を占めるなど、「グローバル化」 を意識した論考が多く見られた。これは船橋市 の第一線で活躍する教員の意識の高さを物語る 他方、教育長賞を受賞した森田一歩教諭の論

なける。 文は大量退職・採用の時代における学校経営と いう視点から、教員研修の在り方を俯瞰しよう する試みである。教員の働き方改革が叫ばれ ている現在、自校における実践の分析を丁寧に 教授 坂田 仰氏 積み重ねており、そこから導かれる論理や考え 方は、全ての学校において応用可能な内容を含 んでいる。その成果が、今後、船橋市全体に波 及していくことを期待したいと思う。

• 法典小学校

• 法典西小学校

(順不同 敬称略)

教諭 綿原純恵

教諭 能谷朱音

- 若松小学校 • 峰台小学校 教諭 横田 彗 (現任校:市川市立八幡小) • 一宮小学校
- 西海神小学校 教諭 髙橋昌治 大穴北小学校 • 法典小学校 教諭 多田千秋 • 御滝中学校 (現仟校:千葉市立登戸小)
- 教諭 井上悠紀 法典西小学校 教諭 • 行田西小学校 教諭
 - 門田信力 若槻由莉 教諭 教諭 伊藤優橋 教諭 内藤咲乃 (現任校:行田中)
- 岩城節臣 御潼中学校 教諭 高橋中香理 (共同研究)教諭 朝田 委代 教諭 中原 攸里

教諭 境谷 友紀 教諭 伊藤 真樹 (現・宮城県職員) 教諭 板倉圭一郎 (現任校:高根台中)

教育研究論文表彰式

令和元年度 千葉県教育奨励賞受賞者 (令和2年3月26日)

県の教職員の中から、学校教 育における教育実践等に積極的 に取り組み、優れた実績を挙げ たとして、千葉県教育奨励賞を 受賞された方を紹介します。船 橋市からは1名受賞されました。



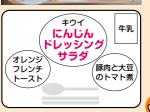
薬円台南小学校 教諭 小野澤 美行 (社会科教育の

わが校の給食自慢レシピ 小栗原小学校編

『にんじんドレッシング

AAAAAAA





小栗原小学校 栄養士 久保 千夏



サラダ油 砂糖 ………小さじ1/3 しょうゆ ……… 小さじ1 白こしょう ……… 小々 レモン果汁 ・・・・・・ 小さじ1/2 にんじん(すりおろす)・・・・1/8本 たまねぎ(すりおろす) ・・ 1/10個 🏻 作り方

キャベツはゆでて、水気をよくしぼる。

② きゅうりは下塩をしておく。 3 小松菜は茹でて、水気をよくしぼり、しょうゆをふっ ておく。

4 A をよく混ぜて、ドレッシングを作る。 ① 食べる直前に、すべての材料を和える。

6月の船橋産の旬の食材は「ベータキャ ロット」という春にんじんです。啓発活動と して、一か月間、「みつけよう!しあわせに んじん」を行っています。クラスに一枚しか 入っていないハート型のしあわせにんじん を、児童たちは一生懸命探します。見つかっ た瞬間は歓声がわき、みんなで祝福します。 「今日もしあわせにんじんある?」と毎日給 食室に確認に来る児童や、自分でハート型に して、しあわせにんじんを作る児童もいます。 家庭でも話題にあがっているようです。





教育情報誌



船橋市総合教育センター 〒273-0863 船橋市東町834番地 TEL 047-422-7730

令和2年度、新しい学習指導要領が小学校で始まりました。 中学校は令和3年度、高等学校は令和4年度から!

○学習指導要領とは;全国どこの学校でも一定の教育水準が保てるよう、文部科学省が定めている教育課程(カ リキュラム)の基準で、これにより子供たちの教科書や時間割が作られています。およそ

10年に一度改訂されています。

○なぜ改訂するのか;現在、社会はグローバル化の進展や急速な情報化、技術革新などにより急激に変化してお り、また今後どのように変化していくかも予測困難な状況です。そのような社会の状況を 見据えて、子供たちが未来を生きていくために必要な資質や能力を見直し、育成するため に改訂されます。

特別支援学校は、幼・小・中・高等学校に合わせて実施します。高等学校は、令和4年度入学生から実施します。 幼稚園は、平成30年度から幼稚園教育要領に基づいて実施しています。

子供たちの学びは進化します!

主体的・対話的で深い学び(アクティブ・ラーニング)の視 点から「何を学ぶか」だけではなく「どのように学ぶか」そして「何 ができるようになるか」も重視した授業改善をしていきます。

見通しをもって、粘 り強く取り組む力が 身に付く授業に

自分の学びを振り返 り、次の学びや生活に 生かす力を育む授業に

カリキュラム・マネジメントを

確立して教育活動の質を向上させ、 学習の効果の最大化を図ります。

学校教育の効果 を常に検証して 改善する

教師が連携し、複 数の教科等の連携 を図りながら授業 をつくる



地域と連携し よりよい 学校教育 ・ロ版す

学んだことを人生や 社会に生かそうとする 学びに 向かう力、 人間性など どのように社会や 世界と関わり、

よりよい人生を送るか

社会や生活で 生きて働く 知識及び

技能

何を理解しているか 何ができるか

思考力、判断力、 表現力など 理解していること. できることを

どのように使うか

未来の状況にも

対応できる

学校で学んだことを社会で生かせるよう **3 つの力をバランスよく育みます**。

新しい学習指導要領で新たに取り組むこと、 これからも重視すること



○子供たちの言葉の力を育む言語能力の育成

表紙絵 石村育子 (八木が谷中学校 教諭)

- ○「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」の 力を育む外国語教育
- ○観察や実験などで科学的に探究する学習活動やデータ を分析し、課題解決のための統計教育を充実させた<mark>理</mark> 数数音
- ○自立し、他者と連携・協働する社会参画力を育む<mark>主権</mark>
- ○自分のこととして「考え、議論する」授業などで道徳 性を育む道徳教育
- ○自立した消費者を育み、買い物の仕組み・売買契約の 仕組み・消費者の基本的権利と責任について学習する
- ○我が国や郷土が育んできた<mark>伝統や文化に関する教育</mark>
- ○コンピュータの活用を体験学習したり、プログラムに よる問題解決をする活動を通し、生活や社会における 課題解決力を育むプログラミング教育
- ○すべての学校で障害に応じた指導を行い、一人一人の 能力や可能性を最大限に伸ばす特別支援教育
- ◎他に「体験活動」「防災・安全教育」「キャリア教育」「国土に関する教育」「起業に関する教育」「金融教育」 なども充実

新しい教育ビジョン 「船橋の教育2020」の概要

〈船橋の教育目標〉

- ○生涯学び活躍できる環境を整え、生涯学習社会を実現する
- ○自立して、主体的に社会に関わることができる子供を育成する







船橋の教育の「羅針盤」8つの基本方針

「いくら廻されても

針は天極をさす」

変化の激しい時代にあっても教育の目 指すものは変わらない。子供が幸福な人 生を送るための基盤づくりが大人の役割

(高村光太郎)

読書活動の推進

船橋市が今後10年間を通じて目指すべき教育目標の実現に向 けて、下に示す8つの基本方針を定め、これを船橋の教育の「羅 針盤」として教育施策を展開していきます。26 の推進目標、64 の施策の全文は船橋市ホームページからご覧ください。

〈様々な教育活動〉~各学校の取り組み~







特別支援教育の推進

体育指導の充実

ICT の活用

基本方針 1 生涯学習の推進を図ります

- ●一人一人の個性を大切にしたスポーツ・レクリエーション活動や文化活動などの生涯学習活動を支援しま す。
- ●学習機会の提供を行い、地域の仲間の輪を拡大することにより、生きがいのある心豊かな人生を送れるよう、 生涯学習に関する施策の充実を図ります。
- ●人生 100 年時代を見据え、生涯を通じて学び、地域に参画し、豊かな知識・技術・経験を生かすため、生 涯活躍できる環境の充実を図ります。

基本方針 2 家庭と地域の教育力向上を図ります

- ●それぞれの学校において、地域との連携及び協働により、「社会に開かれた教育課程」の実現を図っていき ます。
- 家庭と地域の教育力の向上を図り、学校・家庭・地域の連携の強化を推進します。
- ●全ての教育の出発点である家庭教育を学校や地域で支え、学校教育の目標を地域や家庭と共有して子供を育 成する体制を構築します。

基本方針3 学ぶ意欲を育て確かな学力の向上を図ります

- ●授業を工夫・改善し、わかる授業を推進するとともに、個に応じた指導の一層の充実や自主的な学習活動の 奨励などにより、子供たちの学力や学習意欲を高めます。
- グローバルに活躍する人材を育成するために、外国語教育の充実を図り、これまで取り組んできた小中一貫 英語教育を一層推進します。
- ●言語能力の確実な育成を目指して、国語科での指導の充実とともに各教科等においても言語活動を充実しま す。
- ●他者と連携・協働しながら、社会で生きていく力や地域の課題解決を社会の構成員の一員として主体的に担 う力を育む主権者教育を推進します。

基本方針 4 豊かな心を育成し社会性を高めます

- ●道徳性を育てるため、学校教育活動全体を通じて、発達段階に応じた系統的な道徳教育を推進するとともに、 道徳科の授業の公開等により、家庭や地域と連携した取組の充実を図ります。
- ●子供のコミュニケーション能力を高め社会性を向上させるための取組や体験活動、交流活動を奨励します。
- いじめや不登校等の生徒指導上の諸問題について、関係機関等と連携し、未然防止と早期発見・早期対応に つながる効果的な取組を推進します。
- ●多様な表現や鑑賞の活動等を通して、豊かな心や創造性の育成を目指し、情操教育の充実を図ります。

基本方針 5 健やかな体つくりを進め体力の向上を図ります

- ●学校における体育指導の充実を図るとともに、子供たちの健やかな体つくりと体力の向上を図るために体力 つくり活動を推進します。
- 教育的意義が高い運動部活動の指導力向上を図るとともに、外部指導者等を派遣し、運動部活動の更なる充 実を図ります。
- ●子供たちが生涯にわたって心身ともに健康な生活を送れるよう学校保健の充実を図り、食に関する正しい知 識と望ましい食習慣を身に付けるための食育を推進します。

基本方針 6 教職員の力量を高め指導力を発揮できる環境をつくります

- ●教員の授業力の向上、複雑かつ多様な教育課題に対応できるための資質の向上を図るべく、研修体制を一層 充実させます。
- ●学校教育や教職員に対する信頼性を向上させるため、教職員の不祥事根絶やモラール (士気)を高める取組 を実施するとともに、教職員一人一人の能力や業績に対する適切な評価を実施し、教職員の意欲の向上に努
- ●教職員が子供と向き合う時間を確保するために、校務の見直しを行うとともに、教職員が健康を維持して教 育に携わることができるための支援体制を充実させます。

基本方針 フェーズに応じた支援の充実を図ります

- ●一人一人が適切な教育的支援を受けられる仕組みを整備し、通常の学級、通級による指導、特別支援学級、 特別支援学校といった連続性のある「多様な学びの場」を充実させます。
- ●いじめ等の問題行動への学校内外における相談体制の充実、不登校の子供等の教育機会の支援を図り、きめ 細かい支援を充実させます。
- ●海外から帰国する児童生徒への支援や外国人児童生徒等の受入体制の整備や指導の推進を図ります。
- 経済的な理由により就学が困難な児童生徒の保護者に対する学用品費やクラブ活動費等の援助等を引き続 き実施します。

基本方針 8 質の高い教育環境を整備します

- ●学校の天井の落下防止対策等を実施することにより、安全性を確保するとともに、長寿命化を図ります。社 会教育施設においては、老朽化の対策として、施設の修繕や改修等を行います。
- ●学校と地域のボランティアや関係機関との連携により、地域ぐるみで子供の安全を守る環境の整備や、子供 自身が安全な行動をとれるようにするための安全教育の充実を図ります。
- ICT 環境の整備、学校規模・学校配置の適正化に取り組み、より充実した教育環境の実現を図ります。